



OSS 会員研修(M & A)配信のご案内

新規配信案内

テーマ 「中小企業のM & Aと会計事務所の役割 —M & Aを柔軟に活用して中小企業を活性化させよう—」

講師:JPBM会員 弁護士 金子博人氏

【掲載期間】

・平成 26 年 6 月 26 日～
平成 26 年 12 月 26 日

【収録時間】

・約 1 時間
(コマ数: 6)

【主な研修概要より】

- 様々な場面で生かせるM&Aの切り口
 - 1) 今が絶好調企業のM&A
 - 2) 市場が縮小するときのM&A
 - 3) 後継者確保のM&A
 - 4) 創業利益の確保のためのM&A
 - 5) 企業再生のM&A
 - 6) 不動産に関わるM&A
- M&Aで活躍できる税理士の機能と役割
 - 1) M&Aを必要とする企業を第一に知るのは、最も身近にいる顧問税理士
 - 2) M&Aの仲介業務の実情を知ること
 - 3) 後継者については、常に注意を払うこと
 - 4) 事業再生を支援せよ!
- 中小企業M&A支援チームの今後の活動について他



【講師プロフィール】

相続・事業承継、不動産関連問題、M&A、事業再生・破産、国際法務等多岐に亘って活躍。「中小企業M&A支援チーム」中心メンバーとして中小企業のM&Aを強く推進。9月中央経済社より「所長のM&A学」出版。

中堅・中小企業の経営環境は厳しく、国内マーケットが縮小していく中、既存の枠組み内での経営努力には限界があります。多くの企業は多角化するか、技術移転、海外展開等のドラスティックな判断が求められます。そのとき「M&A」は大きな武器となり、専門家支援策の必須のスキルとも言えます。事業が順調なとき、行き詰ったとき、後継者不在で悩んでいるとき等、経営の転換期に効果を発揮します。とはいえ M&A は決して易しい手法ではなく、慎重な交渉と適切なスキーム作りが求められます。専門家の役割は重大であり、ますます期待される分野です。是非本研修を契機に取り組んでみてください。

***今後配信予定 「医業経営(医業承継)提案力コンテスト—実務ノウハウの習得と事務所の業務化に向けて—」**

※JPBM OSSの視聴登録がお済みでない方、又は視聴方法等を確認したい方はお気軽に下記までお問合せください。

お問合せ: JPBM本部事務局 TEL03-3253-4711 info@jpbm.or.jp 担当: 若松、佐伯、大住